【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年12月8日(2005.12.8)

【公開番号】特開2004-260846(P2004-260846A)
【公開日】平成16年9月16日(2004.9.16)
【年通号数】公開・登録公報2004-036
【出願番号】特願2004-116569(P2004-116569)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｍ　1/725
　Ｈ０４Ｍ　1/00
　Ｈ０４Ｑ　7/38
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｍ　1/725
　Ｈ０４Ｍ　1/00　　Ｂ
　Ｈ０４Ｂ　7/26　１０９Ｑ
　Ｈ０４Ｂ　7/26　１０９Ｌ

【手続補正書】
【提出日】平成17年10月20日(2005.10.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
自装置の識別番号を複数格納する識別番号格納手段と、
　使用するサービス種類の情報を基地局側へ通知するサービス通知手段と、
　前記識別番号格納手段に格納されている複数の識別番号のうち、選択された識別番号を基地局側へ通知する識別番号通知手段と
　を備えたことを特徴とする通信装置。
【請求項２】
前記識別番号通知手段は、自装置の識別番号を課金用の情報として、前記基地局側へ通知する請求項１記載の通信装置。
【請求項３】
前記サービス通知手段によって基地局側へ通知したサービスが使用可能かどうかを示す信号を、基地局側から受信するサービス使用可能信号受信手段を備えた請求項１又は２に記載の通信装置。
【請求項４】
前記識別番号格納手段に格納された複数の自装置の識別番号のそれぞれに対して、異なる鳴動音または鳴動パターンを設定する鳴動音設定手段を備えた請求項１～３のいずれかに記載の通信装置。
【請求項５】
前記識別番号格納手段に格納された複数の自装置の識別番号のそれぞれに対して、鳴動をさせるか否かを設定する無鳴動設定手段を備えた請求項１～４のいずれかに記載の通信装置。
【請求項６】
前記基地局側から通知されてきた自装置の識別番号に基づいて、鳴動音を鳴動させる鳴動手段を備えた請求項１～５のいずれかに記載の通信装置。

【請求項７】
自装置の識別番号を複数格納し、使用するサービス種類の情報を基地局側へ通知し、前記複数の自装置の識別番号のうち、選択された識別番号を基地局側へ通知することを特徴とする通信方法。
【請求項８】
前記自装置の識別番号を課金用の情報として、前記基地局側へ通知する請求項７に記載の通信方法。
【請求項９】
自装置が基地局側へ通知したサービスが使用可能かどうかを示す信号を、基地局側から受信する請求項７又は８に記載の通信方法。
【請求項１０】
前記複数の自装置の識別番号のそれぞれに対して、異なる鳴動音または鳴動パターンを設定する請求項７乃至９のいずれかに記載の通信方法。
【請求項１１】
前記複数の自装置の識別番号のそれぞれに対して、鳴動をさせるか否かを設定する請求項７～１０のいずれかに記載の通信方法。
【請求項１２】
前記基地局側から通知されてきた自装置の識別番号に基づいて、鳴動音を鳴動させる請求項７～１１のいずれかに記載の通信方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】通信装置及び通信方法
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
本発明は通信装置及び通信方法に関し、特に基地局に予め登録された複数の自局の電話番号を任意に選択可能な電話機に関する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
本発明はこの問題点を解決するためのものであり、１台の電話機等の通信装置で自局の複数の電話番号等の認識番号を有することにより課金する自局の認識番号を任意に選択できる通信装置及び通信方法を提供することを目的とする。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
本発明は前記問題点を解決するために、自装置の識別番号を複数格納する識別番号格納手段と、使用するサービス種類の情報を基地局側へ通知するサービス通知手段と、識別番

号格納手段に格納されている複数の識別番号のうち、選択された識別番号を基地局側へ通知する識別番号通知手段とを備えたことに特徴がある。よって、一台の通信装置で複数の識別番号を持つことができる。また、この識別番号通知手段は自局の識別番号を課金用の情報として基地局側へ通知する。更に、基地局側へ通知したサービスが使用可能かどうかを示す信号を基地局側から受信するサービス使用可能信号受信手段を備えている。

【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
また、識別番号格納手段に格納されている複数の自局の識別番号のそれぞれに対して、異なる鳴動音または鳴動パターンを設定する鳴動音設定手段を備えている。更に、識別番号格納手段に格納されている複数の自局の識別番号のそれぞれに対して、鳴動をさせるか否かを設定する無鳴動設定手段を備えている。また、基地局側から通知されてきた自局の識別番号に基づいて、鳴動音を鳴動させる鳴動手段を備えている。よって、複数登録されている自局の識別番号に対して鳴動音又は鳴動パターンを変えて、着呼時どの識別番号に対してかかってきたのかを知ることができる。

【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本発明によれば、課金する自局の識別番号を選択できることにより、一台の通信装置で複数の識別番号を持つことできる。また、複数登録されている自局の識別番号に対して鳴動音を変えて、着呼時どの電話番号に対してかかってきたのかを知ることができる。更に、応答したい着呼を選択できる。